



みんなのいえだより

(NO. 103 2020年11月25日発行)

みんなのいえ日取り

早いもので、今年も残すところカレンダー1枚のみとなりました。来月はクリスマス…ということで、レクの時間にクリスマスの飾り作りを始めました。トイレットペーパーの芯を利用して、まずはサンタクロースとトナカイを作り、あとはお好きな飾り付けをしていきます。同じものでも、サンタクロースやトナカイの表情が違い、世界にひとつだけのクリスマス飾りが仕上がってきています。完成が楽しみです！

クリスマスツリーと柿は、工作ボランティアの井本様の作品です



みんなのひろば・なう

デイサービスでは壁に飾る季節の作品を毎月作っています。初めにみんなでどんな作品を作りたいか話し合いをして、協力しながらそれぞれの役割を持って取り組ま



れています。11月のテーマは「田んぼとかかし」に決まり、利用者さんはそれぞれ自由な発想でかかし作りに取り組まれていました。出来たかかしはその人らしさがでていて個性的で楽しいものでした。完成して飾った作品を見て、



自分のかかしを見つけ声をあげたり、自分の取り組んだ場所を教えてくれたりして、みんな頑張った達成感を感じておられました。

またパン工場のスタッフが作品を見て、「お店にも飾りたいのでかかしを作って」とお願いされたので再び皆で作りました。きれいにディスプレイされた様子をパン工房に見に行きました。

言の葉のつばやき

朝・夕ずいぶん

冷え込みが強くなりました。

新型コロナウイルス対策のマスク・

手洗い・消毒が日常生活の一部になっていますが、再度の徹底が必要です。第三波なのか、寒さと乾燥で新規感染者が増え続けています。

某情報番組で、飛沫を抑えるマスクの効果の相違が出ていました。布マスク80%、サージカルマスク99%、医療用マスク99.9%だそうです。

クリスマスや年末年始のイベントも中止となりました。お盆の帰省がかなわなかったのに、お正月も難しいかもしれません。

いままでの日常が取り戻せるように、早く新型コロナウイルスの特効薬やワクチンが出来ることを願うばかりです。

